

## 平成29年定例第2回市議会会議録（第4日）

平成29年6月23日午前9時30分定例第2回市議会をみやま市役所議場に招集した。

### 1. 応招議員は次のとおりである。

1番	奥 菌	由美子	10番	瀬 口	健
2番	吉 原	政 宏	11番	川 口	正 宏
3番	徳 永	重 遠	12番	壇	康 夫
4番	末 吉	達二郎	13番	中 尾	眞智子
5番	古 賀	義 教	14番	中 島	一 博
6番	前 原	武 美	15番	坂 口	孝 文
7番	野 田	力	16番	宮 本	五 市
8番	上津原	博	17番	牛 嶋	利 三
9番	荒 卷	隆 伸			

### 2. 不応招議員は次のとおりである。

な し

### 3. 出席議員は次のとおりである。

出席議員は応招議員と同じである。

### 4. 欠席議員は次のとおりである。

欠席議員は不応招議員と同じである。

5. 本会議の書記は、次のとおりである。

議会事務局長	本 莊 安 政	係 長	堤 和 美
次 長	田 中 裕 樹	書 記	大 木 新 介

6. 地方自治法第121条の規定により、会議事件説明のため出席を求めた者は次のとおりである。

副 市 長	高 野 道 生	総 務 課 長	西 山 俊 英
教 育 長	長 岡 廣 通	企画財政課長	坂 田 良 二
監 査 委 員	平 井 常 雄	企画財政課 財 政 係 長	大 坪 康 春
総 務 部 長	馬 場 洋 輝	福祉事務所長	坂 口 浩 二
保健福祉部長	加 藤 康 志	環境衛生課長	松 尾 和 久
市 民 部 長 兼 市 民 課 長	梅 津 俊 朗	農林水産課長	木 村 勝 幸
環境経済部長	富 重 巧 斉	商工観光課長	松 尾 博
建設都市部長	松 尾 正 春	上下水道課長	木 下 康 彦
教 育 部 長	野 田 圭一郎	学校教育課長	加 藤 武 美
消 防 長	北 嶋 俊 治		

7. 付議事件は、次のとおりである。

- (1) 請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について
- (2) 請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書
- (3) 請願第3号 テロ等準備罪に関する請願
- (4) 議案第26号 みやま市学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- (5) 議案第27号 工事請負契約の締結について
- (6) 議案第28号 財産の取得について
- (7) 議案第29号 財産の取得について
- (8) 議案第30号 平成29年度みやま市一般会計補正予算（第2号）
- (9) 閉会中の継続調査の申出について

(追加日程)

- (1) 発議第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に係る意見書
- (2) 発議第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書

---

午前9時46分 開議

○議長（牛嶋利三君）

これより直ちに本日の会議を開きます。

なお、西原市長におかれましては、本日、健診のため欠席届が提出をされております。これを許可しておりますので、御承知おきをお願いしておきたいと思います。

また、子ども子育て課の長岡課長につきましても、先日に引き続き欠席届が提出されておりますので、これを許可しております。御承知おきをお願いしておきたいと思います。

#### 日程第1 請願第1号

○議長（牛嶋利三君）

日程第1. 請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2018年度政府予算に係る意見書採択の要請についてを議題といたします。

本件につきましては、文教厚生常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を

求めてまいります。坂口文教厚生常任委員会委員長、お願いいたします。

**○文教厚生常任委員長（坂口孝文君）（登壇）**

皆さんおはようございます。文教厚生常任委員長報告をいたします。

請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の請願について、文教厚生常任委員会における審査の経過と結果を御報告いたします。

当委員会は、6月19日に委員全員出席のもと委員会を開催いたしました。

この請願の趣旨としては、政府の予算において、子どもたちの教育環境改善を図るために計画的な教職員定数改善を推進すること、及び教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを実現するため、国の関係機関に対し意見書の提出を求めるものです。

委員会では、慎重審議の結果、全会一致で採択すべきものと決定いたしました。

以上、文教厚生常任委員会における審査の経過と結果の報告を終わります。

**○議長（牛嶋利三君）**

それでは、これより委員長報告に対する質疑を行ってまいります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（牛嶋利三君）**

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

請願第1号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（牛嶋利三君）**

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより請願第1号を採決いたします。

本件に対する委員長報告は採択であります。

請願第1号は委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（牛嶋利三君）**

御異議なしと認めます。よって、請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度

2分の1復元をはかるための2018年度政府予算に係る意見書採択の要請については委員長報告のとおり採択をされました。

## 日程第2 請願第2号

### ○議長（牛嶋利三君）

日程第2．請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書についてを議題といたします。

本件につきましては、総務常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を求めてまいります。上津原総務常任委員会委員長、お願いいたします。

### ○総務常任委員長（上津原 博君）（登壇）

改めまして、皆さんおはようございます。それでは、総務常任委員長報告をいたします。

請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書について、総務常任委員会における審査の経過と結果を御報告いたします。

当委員会は、6月21日、馬場総務部長、坂田企画財政課長及び関係係長の出席を求め、委員会室において委員全員の出席のもと委員会を開催いたしました。

この請願の趣旨としては、自治体の安定的な財政運営を行うためには、地方交付税総額を確保し、地方交付税制度の財源保障機能と財政調整機能を維持することが重要であり、地方の安定的な財政運営を実現するため2018年度政府予算における地方財政の充実・強化を目指す必要があるもので、国の関係機関へ意見書を提出するものでございます。

委員会では、慎重審査の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、総務常任委員会における審査の経過と結果の報告を終わります。

### ○議長（牛嶋利三君）

これより委員長報告に対する質疑を行ってまいります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

### ○議長（牛嶋利三君）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

請願第2号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより請願第2号を採決いたします。

本件に対する委員長の報告は採択であります。

請願第2号は委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書につきましては委員長報告のとおり採択をされました。

### 日程第3 請願第3号

○議長（牛嶋利三君）

日程第3. 請願第3号 テロ等準備罪に関する請願についてを議題といたします。

本件につきましては、総務常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を求めてまいります。上津原総務常任委員会委員長、引き続きお願いいたします。

○総務常任委員長（上津原 博君）（登壇）

それでは、総務常任委員長報告をいたします。

請願第3号 テロ等準備罪に関する請願、総務常任委員会における審査の経過と結果を御報告いたします。

当委員会は、6月21日、馬場総務部長、西山総務課長及び関係係長の同席のもと、委員会室において委員全員の出席のもと委員会を開催いたしました。

本件は、国会で審議中のテロ等準備罪を新設するための法案を廃案にするよう国の関係機関へ意見書を提出するものでございます。

本請願については、請願の趣旨については一定の理解できる内容であるものの、国会で既に法案が可決されており、国会が6月18日で会期が終了しております。そして、6月21日に公布、7月11日に施行というような内容になっております。

委員会では、慎重審議の結果、全会一致で請願者の願意を含め趣旨採択とすべきものであると決しました。

以上、総務常任委員会における審査の経過と結果の報告を終わります。

○議長（牛嶋利三君）

これより委員長報告に対する質疑を行ってまいります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

請願第3号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ございませんか。1番奥菌由美子君。

○1番（奥菌由美子君）

皆さんおはようございます。1番議員、奥菌でございます。今回提出されましたテロ等準備罪に関する請願について不採択の立場で討論いたします。

まず、世界中で頻発するテロ事件で亡くなられた方々に対し、哀悼の意を表しますとともに、負傷者の方々の一日も早い回復を心から願います。国際社会においても、また、我が国においても、断じてテロを起こさせてはならないとの思いを込めて討論いたします。

テロ等準備罪の目的は、テロなどの組織的な重大犯罪を未然に防ぐためです。テロの未然防止には国際的な情報交換や捜査協力が欠かせません。それに必要なのが国際組織犯罪防止条約、TOC条約への加盟です。TOC条約は、加盟の条件として重大犯罪の合意段階で処罰する法律の整備を求めています。また、テロ等準備罪は、内心の思想、良心を処罰するものではありません。

テロ等準備罪は、テロ組織など集団的犯罪集団の構成員が2人以上で重大犯罪を具体的かつ現実的に計画し、さらに計画実行のための下見や凶器購入といった実行準備行為があつて初めて処罰します。計画を共謀しただけで処罰する共謀罪とは全く違います。上司を殴ってやろうと居酒屋で話し合っただけで犯罪になるといったことは起こり得ません。

人権の尊重とテロの未然防止とのバランスがとれた法律であり、国連のグテーレス事務総長やTOC条約の事務局を担う国連薬物・犯罪事務所、UNODCのフェドートフ事務局長は、テロ等準備罪を歓迎しています。

請願の中で、国連人権理事の特別報告者の書簡について触れられていますが、氏の書簡は結合の基礎としての共同目的の内容が入っていない間違った英訳を読んで書簡を送っていることがNHKの「日曜討論」で明らかになりました。イタリアで開かれたG7において、岸田外相は、安倍首相と懇談したグテーレス国連事務総長の発言に触れ、特別報告者は国連と

は別の個人の資格で活動しており、その主張は必ずしも国連の総意を反映するものではないと報告されています。つまり氏の発言は国連の総意を反映するものではなく、何らテロ等準備罪の批判に当たらないことも申し述べておきます。

また、警察の捜査が広がり、監視社会になるとの批判は、そのためにどれだけのマンパワー、コストがかかるかを考えても、余りに非現実的です。テロ等準備罪の犯罪主体は、テロ組織や暴力団、薬物密売組織など、重大な犯罪を目的とする組織的犯罪集団に限定されました。一般人は当然として、民間団体や労働組合がテロ等準備罪の対象になることはありません。テロ等準備罪の捜査は、通信傍受法の対象犯罪ではないことから、メールやLINEなどが傍受されることもありません。しかも、逮捕など強制捜査に必要な礼状を出すのは裁判所です。警察が嫌疑もなしに礼状を請求しても、裁判所は絶対に認めません。

なお、本法案を治安維持法と同一視するような主張もありますが、現在の成熟した民主主義と司法手続、マスコミ等による監視が行き届いている中、治安維持法と同様の問題が生じる可能性は皆無です。

日本が今後、テロの標的になる可能性は否定できません。変化する国際情勢の中で国際標準として187の国と地域が締結しているTOC条約を早期に締結し、テロ等を含む犯罪組織から国民と日本に来る外国の方々を守るために法整備を行うことは、法治国家として当然の責務であります。既に6月15日の国会で改正組織犯罪処罰法、テロ等準備罪法が成立し、6月21日に公布、7月11日から施行されます。請願にある国会で審議中のテロ等準備罪を新設するための法案を廃案にするよう求めるという文言は現実には即さない内容であり、請願第3号 テロ等準備罪に関する請願については不採択の討論といたします。

以上です。

#### ○議長（牛嶋利三君）

賛成討論を行います。13番中尾眞智子君。

#### ○13番（中尾眞智子君）

テロ等準備罪を新設する改正組織犯罪処罰法は、参議院法務委員会での議論も深まらないまま採決を省略し、委員長の間接報告で済ませ、15日の朝、本会議で強行採決され、自民・公明両党、日本維新の会などの賛成多数で可決成立いたしました。こんな乱暴な対応ではなく、委員会できちんと結論を得た上で本会議にかけるのが本来のやり方ではなかったでしょうか。重要法案だからこそ、もっと十分な審議を尽くすことが必要だったと思います。



犯罪の実行前での処罰可能な範囲が広がることになると思います。法案は可決成立してしまいましたが、テロ等準備罪の法案審議の焦点は、処罰される人の範囲だったと思っております。5月28日の参議院本会議で安倍首相がテロ等準備罪はその主体が組織的犯罪集団に限定されると明言したため、6月8日の参議院法務委員会で金田法務大臣より、組織的犯罪集団とかかわりのある周辺者が重大犯罪の計画にかかわった場合も処罰されると修正され、暴力団の地上げ計画の例などが挙げられましたが、周辺者の議論も深まらないままでございました。

このように、議論が尽くされないまま可決した法律など、不安、不信がいっぱいであるわけにはいきません。ただし、もう既に採択されてしまいました。そういう意味では、請願書は成り立たないと思っておりますが、総務委員会の請願の願意に対して、趣旨採択ということを決めていただきました。趣旨採択について私は賛成の立場で意見を述べさせていただきました。

以上です。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに討論ございませんか。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

賛成の立場で発言させていただきます。

第1点は、本会議で付託したときと趣旨が、状況が変わっていると。だから、その手続という面で第1点あります。

それと、法案が無理な形で通ったと、議会制民主主義を若干無視した点があるということについては私も非常に感じております。それに私自身が、この法案をきちっと見た、そこら辺のことができていない上で、まだ手続、みやま市の議会の手続にいう法案成立前の反対と若干違いますから、そういう趣旨で反対の討論をさせていただきました。

○議長（牛嶋利三君）

賛成でしょう。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

ああ、賛成。——いや、ちょっと待ってください。この採決に反対ですよ。

○議長（牛嶋利三君）

採決に対する反対。これは今から賛否両論、表決をとりますので。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

いやいや、だから立場をはっきりさせただけです。

○議長（牛嶋利三君）

反対討論ということでされたわけでしょう。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

はい、そうです。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに賛成討論はありませんか。12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

ちょっと今の発言で忠告します。

本会議で、民主主義で採択されたという発言になったと思いますが、ちゃんと可決していますよね、民主主義でね、投票して。そこは修正してもらったほうがいいんじゃないですか。

○議長（牛嶋利三君）

そうですね。

4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

私、「付託」と言ったんですよ。——という言葉を使ったけど、採択と聞こえたならば、語尾が明瞭じゃなかったから、付託です、付託されたということです。

○議長（牛嶋利三君）

付託。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

うん、付託されたですよ、それと時間が、それからもう成立したということで事情が変わっているということを言いやるだけです。

○議長（牛嶋利三君）

これは上津原委員長が報告されましたけれども、総務常任委員会に付託をされた請願ですね、第3号の。この件については委員長報告のとおり、願意をしっかりと委員会の中で慎重審議いただく中でとって、趣旨を採択という報告がされたと思いますね。ですから……

○4番（末吉達二郎君）

委員会の願意を酌んで採択されている。

○議長（牛嶋利三君）

趣旨採択。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

趣旨採択。

○議長（牛嶋利三君）

はい。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

それで、私……（「請願に対して賛成か反対ですよ」と呼ぶ者あり）（発言する者あり）

○議長（牛嶋利三君）

委員長報告に対して反対ということですか。（発言する者あり）ちょっと起立で訂正はしてくださいね。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

委員長の報告がありました。私はそれに対して反対という立場で今お話をさせていただいたんですけど……

○議長（牛嶋利三君）

ちょっとまとめてもらっていいですか。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

だから、反対ということの趣旨を、どういう理由でという説明をしたけど、手続上、誤りであれば取り消します。私の発言がですね。（「どっちかわかりません」と呼ぶ者あり）

○議長（牛嶋利三君）

はっきりと。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

議長、どこが誤っているか、教えてください。

○議長（牛嶋利三君）

いや、委員長報告に対するですね、委員長報告は趣旨採択ということですね。説明があったとおり、国会での審議はもう終わって可決ということで報告があったかと思いますが、そのことに対する討論なんですね、反対か賛成かの討論なんです。ですから、そのところをもう一回、末吉議員、起立して委員長報告に対する反対なのか賛成なのか、明確にもう一回お願いしたいと思います。

4 番末吉達二郎君。

○4 番（末吉達二郎君）

済みませんでした、混乱させて。

委員長報告に対する反対です、ということです。理由は——理由は述べる必要ないですね。

○議長（牛嶋利三君）

いや、理由ももう一回。4 番末吉達二郎君。

○4 番（末吉達二郎君）

理由は、法案が成立する前の部分で私もいろいろ考えておりましたが、テロ等を退治するというような中では、この法案が必要だという理由で反対をします。反対と言うたらいけないんですかね、委員長報告に反対します。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。

それでは、これより請願第3号を採決いたします。

この採決は起立によって行いたいと思います。

本件に対する委員長の報告は趣旨採択であります。

請願第3号は委員長報告のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（牛嶋利三君）

起立多数であります。よって、請願第3号 テロ等準備罪に関する請願につきましては委員長報告のとおり趣旨採択をされました。

それでは、ここで暫時休憩いたします。

午前10時09分 休憩

午前10時12分 再開

○議長（牛嶋利三君）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

お諮りいたします。発議第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に

係る意見書を日程に追加いたしまして、追加日程第１として直ちに議題としたいと思います。  
御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、発議第１号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に係る意見書を日程に追加し、追加日程第１として直ちに議題とすることと決定いたしました。

#### 追加日程第１ 発議第１号

○議長（牛嶋利三君）

追加日程第１．発議第１号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に係る意見書を議題といたします。

これより事務局長より朗読をいたします。本荘議会事務局長、お願いします。

○議会事務局長（本荘安政君）

〔朗読省略〕

○議長（牛嶋利三君）

これより提出議員の説明を求めてまいります。15番坂口孝文君、お願いします。

○15番（坂口孝文君）（登壇）

発議第１号の提案理由の説明をいたします。

発議第１号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に係る意見書について提案理由の説明を申し上げます。

本議案は、先ほど採択された請願第１号の願意及び地方自治法第99条の規定に基づき、国の関係機関に対し、意見書を提出するものであります。

なお、内容につきましては、ただいま事務局長が朗読したような説明でございます。

皆様の御賛同よろしくお願いいたします。

○議長（牛嶋利三君）

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております発議第1号は、会議規則第37条第3項の規定によりまして、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、発議第1号は委員会付託を省略することと決定をいたしました。

これより討論を行います。

発議第1号の討論につきましては、ただいまのところ通告があってありませんが、討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより発議第1号を採決いたします。

お諮りをいたします。発議第1号は原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、発議第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に係る意見書は原案のとおり可決をされました。

お諮りをいたします。発議第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書を日程に追加いたしまして、追加日程第2として直ちに議題としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、発議第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書を日程に追加し、追加日程第2として直ちに議題とすることと決定をいたしました。

#### 追加日程第2 発議第2号

○議長（牛嶋利三君）

追加日程第2. 発議第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書を議題といたします。

事務局長より朗読をいたします。本荘議会事務局長、お願いします。

○議会事務局長（本荘安政君）

〔朗読省略〕

○議長（牛嶋利三君）

これより提出議員の説明を求めてまいります。8番上津原博君、お願いします。

○8番（上津原 博君）（登壇）

発議第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書については、みやま市議会会議規則第14条第1項の規定により、提出するものでございます。

理由と内容については、先ほど事務局長のほうから朗読がされましたので、省略をします。

記以降の4点について、意見書を提出するというものであります。

皆様方の賛同をよろしくお願いします。

以上です。

○議長（牛嶋利三君）

これより質疑を行ってまいります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております発議第2号は、会議規則第37条第3項の規定によりまして、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、発議第2号は委員会付託を省略することと決定をいたしました。

これより討論を行います。

発議第2号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより発議第2号を採決いたします。

お諮りをいたします。発議第2号は原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、発議第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書は原案どおり可決をされました。

#### 日程第4 議案第26号

○議長（牛嶋利三君）

日程第4. 議案第26号 みやま市学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

本件につきましては、文教厚生常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を求めてまいります。坂口文教厚生常任委員会委員長、お願いします。

○文教厚生常任委員長（坂口孝文君）（登壇）

文教厚生常任委員長報告をいたします。

議案第26号 みやま市学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、文教厚生常任委員会における審査の経過と結果を御報告いたします。

当委員会は、6月19日に野田教育部長、古賀社会教育課長及び関係係長に出席を求め、委員全員出席のもと委員会を開催いたしました。

本議案は、旧山川南部小学校跡地にバイオマスセンターを建設することに伴い、山川南部体育館を市の行政財産として活用することから、当該施設を本条例から除外するものです。

委員会では、慎重審査した結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、文教厚生常任委員会における審査の経過と結果の報告を終わります。

○議長（牛嶋利三君）

これより委員長報告に対する質疑を行ってまいります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行ってまいります。

議案第26号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ありませんか。



〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第26号を採決いたします。

本件に対する委員長報告は原案可決であります。

議案第26号は委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、議案第26号 みやま市学校跡地体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定については委員長報告のとおり原案可決をされました。

#### 日程第5 議案第27号

○議長（牛嶋利三君）

日程第5．議案第27号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

本件につきましては、産業建設常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を求めてまいります。野田産業建設常任委員会委員長、お願いいたします。

○産業建設常任委員長（野田 力君）（登壇）

産業建設常任委員長の報告をいたします。

議案第27号 工事請負契約の締結についてでございますが、産業建設常任委員会における審査の経過と結果を御報告いたします。

当委員会は、6月20日に松尾建設都市部長、櫻木都市計画課長及び関係係長等に出席を求めまして、委員全員の出席のもと委員会を開催いたしました。

本議案は、みやま市営住宅、これは仮称でございますが、高木団地の建築工事を行うものでございまして、その予定価格が150,000千円以上になっておることから、みやま市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定によりまして、議会の議決を要するものでございます。

委員会では、慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、産業建設常任委員会における審査の経過と結果の報告を終わります。

○議長（牛嶋利三君）

これより委員長報告に対する質疑を行ってまいります。質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

議案第27号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。これで討論終わります。

これより議案第27号を採決いたします。

本件に対する委員長の報告は原案可決であります。

議案第27号は委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、議案第27号 工事請負契約の締結については委員長報告のとおり原案可決をされました。

## 日程第6 議案第28号

○議長（牛嶋利三君）

日程第6．議案第28号 財産の取得についてを議題といたします。

本件につきましては、産業建設常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を求めてまいります。引き続き、野田産業建設常任委員会委員長、お願いいたします。

○産業建設常任委員長（野田 力君）（登壇）

それでは、報告いたします。

議案第28号 財産の取得について、産業建設常任委員会における審査の経過と結果を御報告いたします。

当委員会は、6月20日に委員会室におきまして、富重環境経済部長、松尾環境衛生課長及び関係係長に出席を求めまして、委員全員の出席のもとで委員会を開催いたしました。

本議案は、バイオマスセンターで製造される液体肥料を農地に散布する車両3台を購入す

るものでございまして、その予定価格が20,000千円以上となっておることから、みやま市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定によりまして、議会の議決を要するものでございます。

当委員会では、慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、産業建設常任委員会における審査の経過と結果の報告を終わります。

○議長（牛嶋利三君）

これより委員長報告に対する質疑を行ってまいります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

議案第28号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第28号を採決いたします。

本件に対する委員長の報告は原案可決であります。

議案第28号は委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、議案第28号 財産の取得については委員長報告のとおり原案可決をされました。

## 日程第7 議案第29号

○議長（牛嶋利三君）

日程第7. 議案第29号 財産の取得についてを議題といたします。

本件につきましては、総務常任委員会に付託をしておりましたので、委員長の報告を求めてまいります。上津原総務常任委員会委員長、お願いします。

○総務常任委員長（上津原 博君）（登壇）

それでは、総務常任委員長報告をいたします。

議案第29号 財産の取得について、総務常任委員会における審査の経過と結果を御報告いたします。

当委員会は、6月21日、北嶋消防長、宮本総務課長及び関係係長の出席を求め、委員会室において委員全員の出席のもと委員会を開催いたしました。

本件は、みやま市消防団下庄第1分団及び山川東部第3分団の消防車両更新のため、消防車両2台を購入するもので、その予定額が20,000千円以上となることから、みやま市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決に付すべき案件であります。

委員会では、慎重審査の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、総務常任委員会における審査の経過と結果の報告を終わります。

**○議長（牛嶋利三君）**

これより委員長報告に対する質疑を行ってまいります。質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（牛嶋利三君）**

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより討論を行います。

議案第29号の討論につきましては、ただいまのところ通告があっておりませんが、討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（牛嶋利三君）**

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第29号を採決いたします。

本件に対する委員長の報告は原案可決であります。

議案第29号は委員長報告のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（牛嶋利三君）**

御異議なしと認めます。よって、議案第29号 財産の取得については委員長報告のとおり原案可決をされました。

○議長（牛嶋利三君）

ここで暫時休憩をしたいと思います。休憩後の会議は10時50分から再開いたします。

午前10時39分 休憩

午前10時51分 再開

○議長（牛嶋利三君）

休憩前に引き続き、会議を開いてまいります。

#### 日程第8 議案第30号

○議長（牛嶋利三君）

日程第8．議案第30号 平成29年度みやま市一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

これより質疑を行ってまいります。質疑ございませんか。6番前原武美君。

○6番（前原武美君）

この補正予算の件でお尋ねします。

補正予算案、きょう質疑ということになりますが、本日ここに提案者であります市長がお見えになっておりません。この審議の中身で、先ほどありました分は委員会付託という分で審議を終わりました。しかしながら、この補正予算、提案者である市長が本日欠席ということであれば、私どもが提案者に質疑をしたい分ができません。事務的ならできます。そこに皆さんおそろいですからできますが、この予算、政策分についての質問ができません。できますならば、市長出席のもと質疑をさせていただきたいと思いますので、議長、取り計らいのほうよろしくお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに質疑ございませんか。13番中尾眞智子君。

○13番（中尾眞智子君）

今回の補正予算には総合市民センター、仮称でございますけれども、かなりの予算の建物の基本設計、実施設計の予算が出ております。やはり提案された市長がおられるもとで決めていくのが正常ではないかと思いますので、市長の出席のものと会議にさせていただきたいと、よろしくお願いいたします。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長（牛嶋利三君）**

質疑ないですか。そしたら、6番前原武美君、13番中尾眞智子君から、この補正予算に対する執行者が現在出席でない。したがって、内容等々に踏み込んだ質疑をやりたいというようなことでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

開会初日に、今回の定例会で上程される議案の一括上程、そして、提案理由説明は執行長よりやっけていただいております。そしてまた、その内容、細部については各担当課のほうから部長なりやっけていただいて、皆さんにこれ全体審議というようなことで御審議いただいて、きょう採決の日を迎えております。補正予算ということで、この補正予算の中には264,000千円からの予算と、増額の予算ということで、それぞれに質疑があるように思われます。したがって、市長がお戻り次第、休憩後の会議を再開するというようなことで、ちょっと時間がですね、皆さん方にはっきりと午後2時からだとか、2時半からだとか、そうした部分ができませんけれども、開会できる時間を迎えたら、ブザーにてお知らせするというようなことで、暫時休憩をしたいと思います。

暫時休憩します。

午前10時54分 休憩

午前11時28分 再開

**○議長（牛嶋利三君）**

休憩前に引き続き、会議を再開してまいりたいと思います。

日程第8で議案第30号の平成29年度みやま市一般会計補正予算（第2号）を議題として質問をお願いしてまいりたいと思います。質疑ありませんか。6番前原武美君。

**○6番（前原武美君）**

歳出のほうの17ページ、2款1項14目13節の総合市民センター建設の委託料について質問します。

今回補正として総合市民センター事業費の中の委託料、基本・実施設計委託料45,300千円を計上されてあります。説明の中では、この委託業務をプロポーザル方式で執行されるというふうに聞いております。このプロポーザル方式はどのようなものか、説明をお願いします。

**○議長（牛嶋利三君）**

高野副市長。

○副市長（高野道生君）

それでは、所管の企画財政課長のほうから答弁をさせますので、よろしくお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

坂田企画財政課長。

○企画財政課長（坂田良二君）

設計施工業者を発注するに当たりまして、予定をいたしておりますけれども、最も適しました設計者を選ぶために、経験でありますとか、組織体制でありますとか、技術提案書をもとに審査委員会を設けて選定することといたしております。特に技術提案書がかなり専門的な課題になろうかと思っております、選定委員会には報償費で予算をお願いしておりますけれども、4名の大学の先生を予定して、3回ほど予定をいたしておりますけれども、委員会で決定してまいりたいということで予定をしています。

以上でございます。

○議長（牛嶋利三君）

6 番前原武美君。

○6 番（前原武美君）

私が聞きたいのは、どういうふうな形であるかということだったんですが、これ3回に限られておりますので、私のほうから逆に言いたいと思います。

このプロポーザル方式というのは、提案型で間違いありません。発注の仕方につきましては、この総合市民センターにつきましては、発注がここにあります、みやま市総合市民センター基本計画（案）がございまして、これに基づいてされるのだらうというふうに私は解釈して質問しておりますが、ここの中で出ておるものを見ますと、いろんな施設の規模とかがございまして、これをもとにプロポーザルをかけられるということだらうと思いますが、これと一緒にわかりやすく言いますと、個人の方が家を建てる時に、ハウスメーカーに、今言うプロポーザルをされたとします。市民の方にわかりやすく言います。そうしたときに、例えば、3DKということをおっしゃって、和室、洋室、炊事場、そういったものをおっしゃります。ただ、その中で、規模は、先ほどここにありますように出ますが、プロポーザルの中で今重要な分、規模と、もう一つ、この中にも最後に出ておりますが、今までずっと何回も検討委員会、また、こういった場でも申されておりましたが、概算事業費が45億円とここにあります。先ほど言います民間の方も一緒です。3DKを建てたい。ただ、自分としては

資本からすれば、例えば、10,000千円しかない。10,000千円で3DKの案を出してくださいといって提案されるのがプロポーザルです。今回、ここに委託ということで出されてありますが、この基本計画に基づいていった場合には、規模、概算事業費、これをもとにプロポーザルをかけられます。でしょう、当然のことながら。そうした中で私が申したいのは、6月21日、新聞、皆さんお読みになられたと思います。柳川市議会の一般質問で、柳川市民文化会館の計画の中で出ております。基本計画の中では総事業費40億円、しかし、実施設計をしたところ、4,941,390千円という大幅な8億円増の実施設計が出ております。今回、この45億円という分は、あり方検討委員会、建設検討委員会のと時からこの45億円は動いておりません。そうしますと、この柳川市と我がみやま市のこの建設のときの試算はほぼ同時だったというふうに私は思っております。そうしたときに、この45億円、我がみやま市は変わっておりません。そして、今、社会情勢を見てみますと、東京オリンピック、東北震災、熊本震災で資材の高騰がかなりあっております。じゃ、今の45億円では、現にお隣の柳川市でもこういった8億円の増額になるようなことがあっております。じゃ、これをプロポーザルで45億円でかけたときに、施設規模と事業費を委託かけるわけですね、プロポーザルにかけるわけです。そういったときに、2つを満足する提案をされた方を決定していきます。しかしながら、今言いますように、こういったふうな大きな変動が今あっております。

私もいろんなところに行きました。この建設計画を進めてあるところ、実施されているところに行ってきました。身近なところで隣の県が先月発注されました。しかしながら、全部辞退です。理由は、資材高騰。同じくこの市民会館建設を隣の県、身近なところでございますが、不落札になっております。それは先ほど言いますように、資材高騰。柳川市も実施設計されているということですが、我が市は今からです。今から出すわけですね。今から出す中で、既にこれが何年か前のデータに基づいた45億円だと思います。施設規模は変わらないと思うんですよ、建設検討委員会。しかし、この45億円は全く変わってくると思います。そういった分をしますと、この基本計画も一緒ですが、私どもがいただいておりますのはまだ案のままです。案のままです。この議会でも議論されておりましたが、ただ、今言いますように、ここに予算を上げてあって、委託費だけじゃないんですよ。発注されるときに当然45億円というのが出るわけですね。本来なら、ここに債務負担でされてあって、事業費まで含めた債務負担が適当と思いますが、そうは今回なっておりません。委託だけとなっておりますが、しかしながら、プロポーザルを委託するときにそれも含まれた重要案件です、条件です。そ



れを今回ここに出して、委託だけの議論じゃないと思っておるんですよ。これについては今、事務方にプロポーザル方式を私は尋ねましたが、今これを執行するに当たって、45億円が変動しないのか、今まで検討委員会、市民に向けてはこれも踏まえてされてあるわけですね。じゃ、これが変わるとするならば、当然、中身も変わってきます。まずはその分を、この委託費の中に含まれる条件提示の45億円がどうなるのかは、今、事務方では私はないと思っています。それについては今ここに市長がおられません。事務方に45億円をどうするかという回答を求められません。それで私はここで、質問の中で、委託の内容です。それに含まれる45億円という分については、直接、提案者の考え方をお尋ねしたいと思っております。それでよければ、提案者の出席を求めていると思います。

○議長（牛嶋利三君）

答弁要らんですか。6 番前原武美君。

○6 番（前原武美君）

当然、先ほど言いますように、事務方への質問を先ほどしました。お答えいただきました。しかしながら、ここに言いますこの委託費の発注方法がプロポーザルと内容の中で、ここに予算は上がっておりませんが、プロポーザルの条件提示の中で検討委員会、また、市民に向けた45億円という分が動かないのかどうかを提案者から私はお尋ねしたいということで、出席を私は、直接聞きたいということでお話しします。

○議長（牛嶋利三君）

これは執行部から当然説明できるからですね、今お尋ねの分。高野副市長。

○副市長（高野道生君）

この件につきましては、議会の提案理由説明の中で市長のほうから本体工事と設計等を含め45億円を予定いたしておりますということで説明をしているかと思っております。ただ、現時点では、私が思いますのは、やはりこれをベースにですね、45億円、ベースにやはりプロポーザルの対象業者に対しては伝えていきたいと思っているところでございます。ただいまの詳細については、まだ積算はできていないのではないだろうかと思っているところでございます。それは企画財政課長のほうから再度答弁させますけれども、いずれにしても、こういう御質問があったということは、私が約束はできませんけれども、必ず市長のほうにこういう質問が出ましたということで伝えさせていただきたいと思っております。

○議長（牛嶋利三君）

坂田企画財政課長。

○企画財政課長（坂田良二君）

45億円の御質問の件でございます。せんだっての総務常任委員会でも御説明申し上げたところでございますけれども、基本計画を策定するに当たりましては、おおむねの概算事業費がもちろん必要でございますので、御協議をいただいた結果でございます。5,900平米の規模というのは、金額を積算する前の段階で御決定いただきまして、5,900平米で、平米当たり700千円で計算いたしますと、4,130,000千円程度でございます。これぐらいの規模の基本設計と実施設計、管理委託料まで含めると、約2億円だと想定をいたしました。その他工事で170,000千円、これは拡張いたします駐車場工事ではございません。また、備品も含まれておりません。外構工事などで170,000千円までを予定して、合計45億円と想定いたしましたものでございます。

あくまでも、この基本計画検討委員会の協議の中でも金額のひとり歩きみたいなのを懸念されまして、いろいろ御意見いただきましたところでございます。想定ということでさせていただいておるところでございます。金額の内訳につきましては、先ほど申し上げたとおりで、本体工事、外構工事と基本設計、実施設計、管理委託料で45億円、解体工事もこれは含めております。拡張いたします新たな駐車場工事は除外しております。また、備品についても内容でかなり相違いたしますので、備品を外しております。そこで45億円で想定して基本計画を取りまとめておりますところでございます。

なお、プロポーザルの発注に当たりましては、この基本計画をベースに設計会社にプロポーザルをお願いすることになりますので、その辺につきましては、今、議員さん方のお手元にお渡ししておりますのは基本計画案でございます。4月の全協で差上げたままでございますけれども、その後、パブリックコメントでありますとか、庁内の建設検討委員会の協議を踏まえまして、ほぼ同様の内容でみやま市の総合市民センター、仮称でございますけれども、基本計画と決定させていただいておるところでございます。

また、この決定の内容につきましては、冊子を今準備中ございまして、7月の最初の全員協議会で配付させていただきたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

○議長（牛嶋利三君）

6 番前原武美君。

○6 番（前原武美君）

3回目になりますが、今、課長から説明あった分、先ほど私が言いましたよね、案だと。そして、今おっしゃいますよね。後ほど決定を出すとおっしゃられましたね。今まさにもう始まっているんですよ、ここに予算計上されてあるじゃないですか。私どもはこの案しかないんですよ。今おっしゃったですね、庁内会議とパブリックコメントをした。そして、それを今回、後で出すと。私ども議会はまだ案しかもらっていないのに、予算を計上されて執行される。そして、後でそれを出すということを今おっしゃったですね。じゃないと思うんですよ。私どもは予算だけの議決権じゃないんですよ。こういった内容も含めて、そして、するのが我々議会というふうに私は思っております。

今言いますように、案だけで、今まさにおっしゃったですね、課長は。後で出すと。私どもその決定聞いていません。そうすると、今、副市長がおっしゃられました、伝えますじゃないんですよ。伝えられたら、私ども、きょうこれを議決せにやいかんわけですね、承認せにやいかんわけですよ。承認するかどうかは別ですが。これをきょう決めにやいかんわけです。伝えるじゃ、私が今質問しておる分は伝えるじゃないんですよ。私はこれを議決するために聞いているんですよ。伝えるじゃないと思います。——いや、ちょっと待ってください、もう3回でこれ終わりますので、切られたら私はたまりません。

今言いますように、この計画案、素晴らしい計画案が出ております。しかしながら、これは検討委員会と、市民に向けてパブリックコメントされました、庁内検討会議もされました、議会に対しての議論はございません。そして、もう既に発注されるこの基本計画と実施設計の委託をされるということは、議会に対する議論はございません。そして、きょう議論したくても市長おられません。伝えるじゃないんじゃないですか。

#### ○議長（牛嶋利三君）

ちょっと待ってくださいね。あのですね、3回ということですが、ちょっと私がですね——ちょっと着席してもらって、またあと質問させますので。ちょっと執行部にですね、総務常任委員会の中でも企画財政課長、しっかりとした説明いただきよったけど、まず、この総計の151,000千円になる設計料ですよ。今回、45,300千円ですか、基本・実施設計委託料というようなことでのお示しが数字でされておるけど、これはあくまでも、このことに対するあれは、何ですか、建技センターのほうで数字を出していただいておりますというようなことですが、これは建設じゃなくて、あくまでも設計でしょう。そこをもっと、前原議員、設計なんですよ。だから、そこも含めて質問を続けてください。はい。

○6番（前原武美君）

ですから、おっしゃるように設計の中で今回プロポーザルでいかれるから私は言っているんですよね。プロポーザルの中に条件提示が当然それが入ってくるから私は言っているんですよ。当然でしょう。ですね。

ですから、それが、先ほど言います身近な例を言ったら失礼になるかもしれません。ここにあるんですよ。そして、私がいろんなところに行きました。現に直接行きました。しかしながら、原因が実施設計したときと全然違うということも直接私は聞いてきております。計画のときと実施設計して、それで契約が落札にならないという部分を聞いております。ですから、この45億円ですね、中身ですよ、議長。今言いますプロポーザルの中身を言っているんですから、これをここに提示する前に十分議論されていかないと、またいろんな市町村あります、ここに例も出しました、私も聞いてきました。そういった分になって市民に検討委員会、我々も45億円というのはたびたび聞いております。ただ、今言いますように結果はまだ出ておりませんが、そういった中で、この委託を出すということについては、私はどういうふうな形で出されるのか、今、副市長がおっしゃられます、伝えますじゃないと思うんですよ。ここで決めやんと——今、何ておっしゃいましたか。（「議長」と呼ぶ者あり）いや、ちょっと待って。3回の中に入れていただきますか。

○議長（牛嶋利三君）

今、何かお尋ねけん、続けてよかけん。ちょっと。はい、高野副市長。

○副市長（高野道生君）

ただいま企画財政課長が申し上げたのは、積算をした結果、概算費用としてこれくらいかかりますということを今説明したと思います。また、市長のほうも45億円を想定いたしておりますと。じゃ、45億円なのか、46億円なのか、現時点でわからないんですよ。それは家を建てるのも同じじゃないでしょうか。実際は10,000千円と。私たちは45億円をベースに設計をお願いしたいと。そういうお願いをしていきたいと考えているところでございます。

今、前原議員さんがおっしゃるように、何億円ですかと言われたって、じゃ、44億円だったらいいんでしょうか、46億円だったらいいのかというのは明確に現時点では答えることができませんので、それは御理解いただきたいと思います。

○議長（牛嶋利三君）

はい、続けてください。6番前原武美君。

○6番（前原武美君）

私が言ったのは、今、身近な話をしたじゃないですか。そして、私がこの算定をされたのは、ほぼお隣の柳川市、今回ここに新聞にあっておりますように、同じ年代のデータだと私は思うんですよ。じゃ、ここに出された議案のときにされたならいいですよ、一番今年度の実施設計をもとに上げられたらいいんですが、もう既に何年か経過したこの概算事業費だろうと私は思います。概算ですから、今私が言います45億円とは言っていないんですよ。それをですね、もう一回吟味してやったらどうですか、こういったふうに——失礼な話になりますが、お隣で8億円も超えるような事業費じゃなくして、市民に、今おっしゃるように、ここにも確かに書いてあつてほしい、おおよそと書いてありますが、おおよそというのは一般的に、ああ、これからもうわずかしかなという感覚になるわけですよ。しかし、今の社会状況を私は言ったじゃないですか。そういった分を踏まえて、再度この分は私は見直してパブリックにかけてされたらいいんじゃないですかと、委託をですね。私は委託の質問をしているんですから。委託をする中身、条件ですから。それが条件に入っておらんなら私は言いませんよ。条件に入っておるわけですから、これは質疑の中に十分入るわけですから。私はそれを言っているわけです。そのためには私は市長の出席を求めて、市長から今おっしゃるように、伝えますということじゃなくして、私はこれを発注される予算をしているんですが、伝えますでは私は困るんですよ。

○議長（牛嶋利三君）

ちょっと待ってください。いや、もう3回は過ぎておるから、もう延ばされんからですね。締めてください。6番前原武美君。

○6番（前原武美君）

私がここで言いたいのは、何回も言わせていただきますように、市長の考え方ですね、このプロポーザルを出す前にそれを見直して、また私どもにもこういう公の議会でされるのか、検討委員会にも45億円でしていましたが、近々の調査したところ変わるんですよということになれば、内容も変わってくると思うんですよ。そこら辺を伝えるじゃなくして、こういった公の場で発言していただきたいために私は直接聞きたいと言っているじゃないですか。それをお願いしたいと思っておりますが、私の分は3回で終わりますが、私はそういうふうに申し添えます。

○議長（牛嶋利三君）

高野副市長。

○副市長（高野道生君）

今回の提案説明の中で申し上げたのは、総合市民センター基本計画検討委員会の答申を受けています。それと、パブリックコメントもやっております。それを含めた形で、実は基本・実施設計委託料を計上させていただいているところでございます。それを、出てきた段階で、これを全ての機能を満足するためには、じゃ、60億円かかると、例えば、そういう場合も出てくると思います。逆にその場合は機能をやっぱり落とさなきゃいかんのかなと思っております。また、議員の皆さん方もそうだけれども、こういう機能をやっぱり入れるべきじゃないかという意見も今後出てくると思いますので、その段階、段階で御説明はしていきたいと思っているところでございますので、ぜひそれは御理解をいただきたいと思います。ただいま申し上げましたように、まずは基本・実施設計をしないことには説明ができない状況でございますので、それは御理解をいただきたいと思っているところでございます。

それと、もう一つお約束できることは、この間の全協の中でも申し上げましたように、段階、段階で議員の皆さん方には御説明をしていきたいと思っております。その中でも、これは要らんという意見があれば、それは落とすべきじゃないかと思っております。逆にこの機能を入れろという意見が大半であれば、入れざるを得ないと思っておりますので、それはぜひ御理解をいただきたいと思っております。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに質疑ありませんか。13番中尾眞智子君。

○13番（中尾眞智子君）

私も前原議員の質疑とちょっと似ているところもございしますが、柳川の市民文化会館の工事費が新聞で見ました、8億円ほど増していると。最初は35億円だったと思いますけれども、40億円から49億どれくらいかなってございましたね。そういう場合、うちでもそういうことがあったときに、うちはどこまで市長は出せると思っておられるのかを聞きたいと思っております。

○議長（牛嶋利三君）

ちょっと中尾議員、いいですか。質問の……（「済みません、ごめんなさい。言い方を変えます。ごめんなさい、間違っていました」と呼ぶ者あり）示してください。

13番中尾眞智子君。

○13番（中尾眞智子君）

ここに委託料ですね、17ページの基本・実施設計委託料の45,300千円。この基本設計、それから実施設計は総合市民センター、一応予定として45億円で建てますというものの基本設計、それから実施設計だと思っております。今これが基本計画などで、基本設計等はですね、基本計画など建物に対する希望を聞いて、そして、それを計画の中に入れて設計図の中に入れると希望が具体化された、本当に基本計画の中でうたわれているような建物のイメージが出てくると思います。しかし、例えば、先ほどの柳川のようなことがあれば、そのときにどうなるのかと。そのときに基本設計、それからまた実施設計に移るときに、ああ、これではこんなに高くなるじゃないかと、45億円で一応、検討委員会の一番最初のときだったと思います、お金はあります、45億円でというふうなことも聞いております。それで、45億円で本当にでき上がるのか。実施設計の中で、じゃ、これは柳川みたいに10億円近くも上がる、うちはもともとが45億円ですので、例えば、60億円になるかもしれません。そのときに、いや、そのままでいくよと市長は言われるのか、そこが不安なんです。どうされるのかというのを聞きたいんです。

だから、その基本設計、実施設計のときにどうされるのかなと、基本設計委託料でつくられていきますけれども、そこを市長に聞きたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（牛嶋利三君）

高野副市長。

○副市長（高野道生君）

ただいま申し上げましたように、45億円をベースに委託料、発注しますということです。45億円をベースに。その中で、じゃ、例えばですよ、子育て教室が、これはあと何千万円か出したらできますよといったとき、じゃ、それを45億円オーバーしたから、これは入れないのかという問題もありますよね。逆に、これは先ほど言ったように、もう高田のまいピアにもあるじゃないですかとか、山川もあるじゃないですか、じゃ、これはここに要らないじゃないですかと、そういうスペースについては削除したり、そういう形で最終的に決めていかざるを得ないなと思っているんですよ。そこは御理解をいただきたいと思っているんですよ。今の時点では、45億円なのか、44億円になるのか、ちょっと見えない世界がございますので、そこは御理解いただきたいと思います。

○議長（牛嶋利三君）

13番中尾眞智子君。

○13番（中尾眞智子君）

今の時点では45億円なのか、44億円なのか、46億円なのかと先ほども出ておりましたけれども、わからないとおっしゃっておりますけれども、現に柳川では10億円近いあれが変わっておりますので、うちもそういうことがありはしないかと、そういうときに基本設計なり実施設計なりを変えていかれるのか、どうするのかというものをお尋ねしているんです。

○議長（牛嶋利三君）

高野副市長。

○副市長（高野道生君）

柳川の状況も十分私も理解をしているところでございます。それを踏まえて、少なくとも、45億円をベースに、45億円ということを想定してやってまいりたいと思っているところでございます。その進捗状況については、もう先ほども申し上げましたように、その都度、議会のほうにも説明をさせていただいて、御説明をしていきたいと考えているところでございますので、現時点での状況はあくまでも概算ということでございますので、御理解をいただきたいと思っております。

○議長（牛嶋利三君）

13番中尾眞智子君。

○13番（中尾眞智子君）

それでは、先ほど庁内での協議のもとで基本設計ができ上がりましたと、まだ皆さんにお配りするものは冊子ができていませんが、後ほど配りますということでございましたけれども、私たちは説明を途中で受けましたけれども、議会の中でという、これはもう議会の内々のことですけれども、いろんなことについて協議をしております、まだ。今後していくことになると思います。そのときに、一般質問でも出ました、瀬高公民館の建てかえじゃないかと、そういう意味ではなかったかと。ならば、500席でいいんじゃないかというような質問もありました。その中で、例えば、議会の中で、いや、もう800席なんて要らないよと、500席でいいよというような形になったときに、500席に変えられるんですか。いろんな要望が出たときに変えられるのかどうか。私たちはまだ冊子さえもいただいていない中での委託料でございますので、どこでどう判断するのかというところに迷っております。変えられますか。



○議長（牛嶋利三君）

高野副市長。

○副市長（高野道生君）

市長が提案理由を説明したとおり、基本的な部分については変えられないと思っております。基本的な部分については変えられないということですね。じゃ、500席にするのか、300席にするのか、それはこちらで申し上げておりますように、800席を考えておりますということで市長のほうで答弁しておりますので、よろしくお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに質疑ありませんか。12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

議長、3点ほどあるんですけど、一緒にやるんですか、それとも、款別にやったほうがいいんでしょうか。もう一緒に、全部。款別がよろしいんですか。3つ一遍に言ったほうがいいんですか。

○議長（牛嶋利三君）

1つずつお願いします。

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

じゃまず、歳入のほうで行きます。12ページお願いします。

財産収入で、今回、高柳のみやまエネルギー株式会社の土地建物貸付収入ですね、9,321千円ということで追加で補正が上がっております。一応説明では3年間で経過して安定経営に至ったということで聞いていますが、具体的に単価が幾らになったか、ちょっと聞いていないので、それで、こういうふうにしたという、今申し上げて安定経営と3年経過と。この価格が出れば、それでどのぐらい利益が膨らむのか、9,321千円というのがどういう計算で出ているのか。1年分なのか、例えば、来月からなのか、どこで計算するのか、その辺を教えてください。

○議長（牛嶋利三君）

高野副市長。

○副市長（高野道生君）

その前に、壇議員さんのほうにお答えしますが、こういう経緯になった理由は、先

ほどお話がございましたように、安定経営がなされているということと、もう一つ、株主に対して1割配当ということで年々、配当がふえているところでございます。こうした中、市のほうでこれまで2分の1ということで貸貸借をお願いしておったけれども、市のほうに何とか貢献をしたいということで、役員会で決めさせていただきまして、今回、標準価格ということで戻すということで決定をしたところでございます。私のほうが一応役員ということで出させていただいておりますので、そういうところでございます。具体的にどのくらいかというふうな詳細については、部長のほうから答えさせます。よろしくお願いします。

**○議長（牛嶋利三君）**

富重環境経済部長。

**○環境経済部長（富重巧齊君）**

お答えします。

先ほど副市長のほうからもありましたように、当初、半額にしておりました。それで、まずどれくらいの期間かということです。今年度につきましては、4月分から1年間丸々ということで協議をしております。

それから、当初、減額前が140円ですかね、140円。それが254円ぐらいになるのかな——ちょっとお待ちください。

失礼しました。当初は、昨年までは140円、ことしにつきましては254円で計算をしております。それはなぜ、先ほど半額というふうに申し上げておったのが、じゃ、280円になっていないじゃないかということなんですが、それにつきましては、土地の評価額が変わっておりますので、現在の評価額に合わせて試算、計算をしているところでございます。土地の評価額。（「じゃ、下がった」と呼ぶ者あり）そういうことです。

以上です。（発言する者あり）

この分は、今回増額して9,300千円程度上がりますので、今年度につきましては、税額が20,760千円程度になります。今までの、昨年までの11,400千円程度でございました。140円で計算をして、11,400千円程度ですね、昨年までの。今年度が254円で計算をして、20,760千円程度でございます。それで、今回差額の9,320千円を追加で補正をさせていただいております。

**○議長（牛嶋利三君）**

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

そしたら、ちょっとあわせて確認したいのが、これ、土地の評価によって、280円じゃなくて254円になったと。ここは減税、土地に対する固定資産税とか、その辺の減税はやっていただくか、ちょっと教えてください。

○議長（牛嶋利三君）

坂田企画財政課長。

○企画財政課長（坂田良二君）

市有地でございますので、非課税土地でございます。積算に当たりましては、固定資産課税標準額相当額を積算いたしまして、その額をもとに先ほど申し上げた金額になっております。

以上でございます。

○議長（牛嶋利三君）

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

じゃ続けて、次は18ページの総務費、先ほどの総合市民センターの事業費の中でですけど、不動産鑑定委託料350千円ですか、これ説明によると、何か駐車場を総合市民センターの拡張のために鑑定をやりますということですよ。具体的にこれ、先ほどのお話からも出てきますけど、45億円ないかどうかは補正を含めて変わってくる可能性があるという副市長の答弁ですけど、これはどのぐらいの広さで、相場に よると 思いますけど、どのぐらいの規模の価格を考えてあるのか。これ、先ほど説明では、除くと、45億円から省くということですよ。ここがどのぐらいあるのか、教えてください。

○議長（牛嶋利三君）

坂田企画財政課長。

○企画財政課長（坂田良二君）

駐車場が不足することが想定されますので、新しく用地を確保する予定にいたしております。場所はJ A会館の北側の、道路を挟んで北側でございます。現在、田んぼでございます。面積が約3,300平米ございまして、そこで道路が狭くなっておりますので、J Aの東側の道路と同じような感じで向こうに延ばす道路の拡幅工事と、駐車場の造成工事を予定しております。駐車場はその工事でおよそ100台確保できるものと考えております。

以上でございます。（発言する者あり）

申しわけございません。固定資産税の路線価で、その7割で割り戻すやり方がございますけれども、固定資産税の路線価で考えますと、70千円弱でございます。坪です。坪70千円弱で、約1,100坪でございますので、77,000千円弱でございます。

以上でございます。

○議長（牛嶋利三君）

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

再度ここは、先ほど前原議員も中尾議員も聞かれていたので、確認という意味であわせて聞きました。45億円の外ですよ、これね。先ほどの説明だと。ということは、ここで77,000千円がもう黙って乗っかってくるよという話でよろしいんですか。

○議長（牛嶋利三君）

坂田企画財政課長。

○企画財政課長（坂田良二君）

45億円相当額の考え方でございますけれども、必要とします面積……（発言する者あり）外でございます。ただ、今後どうなるかわかりません。資材の高騰もありますけれども、できるだけ中になるような形で進めたいと思っております。よろしくお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

次、行きます。

次は23ページお願いします。6款の農林水産業費、ここで農業施設費で道の駅の工事請負ということで109,300千円ですか、が出ています。これについては屋外店舗、イートインスペース100席分ということで概要の説明は聞いています。しかも、備品購入がテーブルやベンチだけで11,350千円ということで聞いていますけど、これだけの100席のイートインスペースがあるにもかかわらず、当初、トイレを、食堂をつくとトイレの増設費用がかなりかかるということでやられていますけど、これ、トイレに関するこういう規定は一切要らないのでしょうか、そこだけ教えてください。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧齊君）

済みません、今の質問の趣旨は浄化槽にかかわる分ということでしょうか。

（発言する者あり）

まず、浄化槽につきましては、当初、それこそ大枠の予算を決定して整備を図った関係で、なかなか大きくできないというところがございます、トイレについても、あるいはフードコート面積であったり、そういったものを制限させていただいた経緯がございます。今回この部分につきましては、別に浄化槽を設置してやる計画で今のところ計画をしております。既存の施設と別の水処理をするというようなことで御理解をいただければというふうに思います。

○議長（牛嶋利三君）

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

ということは、トイレの設備ということで私、一緒くたに聞いたので、浄化槽も含んでいるんですけど、ということは、この工事請負に整備工事費という形で、説明で聞いたのは先ほど言ったように屋外店舗だのイートインスペースよと。ということは、浄化槽を含めたトイレの増設があるのかどうかは別ですけれども、別にするということは、その設備に対しての費用は、これと別途また出てくるというふうに考えにやいかんのですか、含むんですか。

○議長（牛嶋利三君）

木村農林水産課長。

○農林水産課長（木村勝幸君）

工事請負費の中に浄化槽の設置工事費も含んでおります。

以上です。

○議長（牛嶋利三君）

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

それじゃ、せっかくですから3回目で聞いておきます。どこの場所にトイレのあれを追加するのか。何人槽、どういう設備なのか、概要がわかれば教えてください。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧斉君）

今回の場合、トイレの増設は基本的に考えておりません。結局、チャレンジショップ的な意味合いも含めまして、調理加工をするテナントを誘致する関係で、そこで水を使います。それで、その加工用の水を使う部分の浄化施設という意味合いで、先ほど浄化槽というふうなことを申し上げたところです。トイレについて、現在、道の駅のほうからトイレの数が不足しているというようなお話は今のところ聞いておりませんで、今後、ただ、今回、現在のフードコートの前スペースのところにこの施設をつける予定にしておるんですけども、今後こういった施設により、また利用者がふえてくる可能性がございます。そうならんといかんというふうに思っておりますけれども、そういうふうになった場合は改めて、例えば、駐車場の問題であったり、進入道路の問題であったり、トイレの問題であったり、その辺は新たな検討課題になる可能性としては、我々としても認識をしております。

以上です。

○議長（牛嶋利三君）

12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

ちょっと4回目になるんでしょうけど。ということは、これ、100人分のイートインスペース云々、外食産業的なあれですよ、をつくって浄化槽は水処理をするための、俗に言う炊事ですよ、に使うだけであって、トイレの分は要らないですよという、これは認識でよろしいんですか。というのが、怖いのが、おたくたちがやったのは、このさくらテラスを、私、前も言いましたけど、まだやらないですよ、浄化槽設置をね。後々でこうやって全部、じゃ、普通の家の方もね、ついでに足せ足せといってどんどん足していかれて、法律的にはいいんでしょうけど、市がやっている事業として本当にいいのかと。トイレが混むようになったら数はふやしますけどじゃなくて、その辺きっちり示してあげないと、住民に。それが市のやり方でしょう。これは法に触れませんから、どんどんやってくださいとっていいんだったら、市民にどがしこでも私は言いますよと、さくらテラスで言いましたよね。いや、市長も言いました。公共下水道、あと何年かしたら来るけんがと。さっきの話をしているんだったら何ぼでもやっていいということじゃないですか。そこをちょっと正確に答弁してください。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧齊君）

今回の計画の中では、今のところ必要ないというふうに考えております。

○議長（牛嶋利三君）

ここで暫時休憩いたします。午後の会議は13時半から再開したいと思います。

午後0時16分 休憩

午後1時30分 再開

○議長（牛嶋利三君）

それでは、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

この議案第30号に対する質疑を再開する前に、市長の午後からの出席というようなことで、時間はともかくお見えいただくというようなことで話しておったかと思います。このことがちょっと、その後の状況と申しますか、報告があっておりますけれども、皆さん方に改めて副市長のほうから報告をさせていただきたいと思います。お願いします。高野副市長。

○副市長（高野道生君）

それでは、御報告申し上げます。

先ほど市長と連絡をとったところでございます。帰庁の時間を確認いたしましたところ、本日は検査が長引いているということで、もうしばらく時間を要するというで連絡がございました。そういうことで、本当に議会議員の皆さん方には御迷惑をおかけしますけれども、御理解いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（牛嶋利三君）

それでは、引き続き質疑を行ってまいります。質疑ありませんか。5番古賀義教君。

○5番（古賀義教君）

23ページです。チャレンジショップ整備事業のことですけれども、私の12月議会での質問に起因しているかと思われる点もあるんですが、建築の坪単価が上がれば、出店の負担が上がらないか心配しておりました。高くなれば、起業や試行してみたくても簡単に手が出せないのではないか、入店できないのではないか、また、市だけの予算みたいですので、道の駅のテナント料よりも安くできないか、チャレンジショップであればですね。それと、店ができるということは駐車場が狭くなるかと思っておりますけれども、土日は満杯と聞いておりました。

不足することにならないかをお尋ねいたします。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧斉君）

お答えします。

基本的に施設の賃料につきましては、現在、条例がありますので、それを基本に考えております。室内、いわゆる今のフードコートのテナントと同様のことで現在考えております。

それから、駐車場の件につきましては、議員御指摘のとおり、特にイベントを行うときですね。イベントを行うときに不足をしているのは事実です。ただ、今度このチャレンジショップの整備を図って、どれだけの集客があるのか、それを見きわめた上で判断をしたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（牛嶋利三君）

5 番古賀義教君。

○5 番（古賀義教君）

じゃ、そこに出店される、10店舗ぐらいと聞いておりましたが、出店される店舗の業種とか選考基準、方法、入店期間とかわかる範囲内でお願いいたします。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧斉君）

その点につきましては、まだ現在、道の駅と協議をしているところです。それを協議が終わって、ある程度の基本方針をつくった上で商工会、それから、JA、漁協、そういった株主がいらっしゃる団体等の協議をして、基準を選定していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（牛嶋利三君）

5 番古賀義教君。

○5 番（古賀義教君）

これはお願いになるかとも思いますけれども、瀬高のかつての繁華街とか、山川の商店街



の再創生については、この一般質問でも常任委員会でも出ておりましたけれども、やはり人の流れをどうやってそちらのほうにつくるのか、お願い兼ねて今のところ何か考えがございましたら、お答え願えればと思います。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧斉君）

確かに道の駅みやまは集客力が大変ございますので、そこに集中しているような感も実際持っております。現在の商店街の現状につきましては、先ほどの一般質問の中でもありましたように、新たな補助制度を活用したりしながら振興策を図っているところでございますし、旧443の国道ですね、山川地区の。あそこにつきましては、地域でまたいろんな研究会といいますか、会合が持たれて話し合いをされておるようでございます。そういった分の報告が出ましたら、それを参考にさせていただきながら、今後の対応を考えたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（牛嶋利三君）

ほかに質疑ありませんか。10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

3点ほど伺いますが、まず、幼稚な質問でございますので、簡単にお答えいただければと思っております。

23ページの農村チャレンジですね、今も話がちょっと出ありますが、地方創生の整備事業ということで120,000千円、一般財源で33,000千円ですね。イトインスペースとか、屋外店舗とかということで書いてありますけれども、これは株主さんですたいね、市が株主、あとは商工会、JA、高田漁協ですかね、一般財源33,000千円払う中で、この株主さんたちからの出資負担というのは全くないですかね。昨年も増床ということで増築をされたですたいね。そういうところから、ちょっと私も早く勉強しておけばよかったんですけども、つつい今日に至ってお聞きするわけでございますが、こういったときの株主からの負担というのは必要ないかどうかということをお尋ねします。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧斉君）

お答えします。

道の駅みやまは、道の駅を管理運営する会社として、先ほど議員御指摘のとおり、みやま市とＪＡ、それから、商工会、漁協で出資をして設立している、いわゆる管理運営会社でございます。施設につきましては、あくまでもみやま市が整備をしていくという条件のもとに管理運営を委託しているわけでございますので、指定管理者として、しておりますので、株式会社道の駅みやまからの、株主からの今回のこういった施設の整備に対する出資といえますか、負担は求めないという考えでございます。よろしくお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

株式会社そのものの体系というのがそういうふうな体系であると、一般的な株主ですね、会社というのがそういうものであるというふうに理解してよかですかね。それで、前回もちょっと出りましたが、今、配当が10%ですね。こういうことで、何の負担もなければ、本当先ほど言いましたように幼稚な考え方でございますが、もう株主さんは解散したらどげんですかね。市だけの収入にしたらどげんやろうかなという考え方も成り立つわけですけどね。どういうことでしょうかね、ちょっとお聞きいたします。

○議長（牛嶋利三君）

富重環境経済部長。

○環境経済部長（富重巧斉君）

じゃ、もう一度、株式会社道の駅みやまを、いわゆる三セクで設立した趣旨は、道の駅みやまで、いわゆる地元の農産物であったり、商工品を販売して、地域の経済の活性化を目的に整備をしているところでございます。そういったところに対する農産品の出品であったり、あるいは商工会による加工品の出品であったり、そういったものを出していただくに当たって、当初、組合員を募集するに当たって、なかなか厳しいものがございました。そういった関係で、商工会、ＪＡさん、それから漁協さん、そういったところをお願いをして、出荷者を募集した経過もございます。そういったことを踏まえて、みやま市全体として、この道の駅みやまを発展させていこうという趣旨でこの会社をつくっておりますので、そして、その会社では、先ほど言いましたように施設の管理運営をやっていくということを目的に出資を

していただいた経過でございますので、よろしくお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

出店、農産物、海産物ですね、いろいろあろうかと思います。ただ、考えるに管理運営ということだけということと、出資が非常に少ないですたいね、3,000千円、2,000千円、1,000千円でしょう。どげんかするなら、私がポケットマネーで言うてよかばってんがですね。そこら辺でこういう大規模な事業をされる中であって、負担ぐらいどうかなというふうに思っただんですが、株式会社という体系がそういうものだということならば、いたし方ないというふうにも思うわけでございますが、あとは詳しくは部長のほうへ聞きに行きますので、そのときはよろしくお願いします。企画財政課長のほうに行ったっちゃようわからんやったですもん。専門用語でぺらぺらしゃべらっしゃるけんですね。後でお願いします。

2問目よかですか。

○議長（牛嶋利三君）

はい、どうぞ。10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

30ページのオリンピック・パラリンピックのキャンプ団の受け入れということがございます。みやま市と柳川市の両市でやっていこうというようなことですが、オセアニア諸国というようなことになっておりますが、これはどこら辺まで進んでいるのか。こういう両市でやっていこうということで、どこまで進んでおって、今後どういうふうなことで取り組んでいきたいとか、具体的に、今の段階で、わかる段階でいいですよ、教えていただければと。私たちも非常にこの件については周りからお聞きになる方も多いもので、少しでも多くの情報を得ておきたいなということで質問をいたしております。

○議長（牛嶋利三君）

野田教育部長。

○教育部長（野田圭一郎君）

ただいま瀬口議員のほうから、オリンピックの事前キャンプ誘致についての進捗、それから、今後どのような取り組みかというような御質問だったかと思います。

まず、進捗でございますけれども、3月の議会におきまして一般質問をお受けしまして、

そのときにも若干御説明申し上げたところでございます。キャンプ誘致につきましては、福岡県、それから、誘致を希望する5自治体、みやま市を含めましてお隣の柳川市、それから、京築のほうの行橋市、築上町、みやこ町、この5自治体、それと県と連携をしながら進めているところでございます。

昨年末に代表のオセアニアオリンピック連合の代表の方が県内視察をされまして、その後、2月にもお見えになったということで御報告を申し上げておったかと思います。それから、そのときに再度、最終的に各国の代表、国や地域の代表が5月に来る予定ということで、そこにお見えになれば、ほぼキャンプについては確定といえますか、実現に近づくんじゃないかというお話を申し上げておったところでございます。5月12日に実際、各国、地域の代表の方が本市にもお見えになりました。予定しております広域公園の県営プールのほうを見学されて帰られたということであります。その後、できれば今年度から実際、事前キャンプということでやりたいというお話を県のほうにされておまして、その準備ということで今回、補正予算をお願いしているところでございます。

みやま市におきましては、先ほど申し上げましたように、県営プールを活用しての水泳選手の誘致、それから、柳川市におきましては、武道館、体育館等を活用した武道関係の競技を希望してあるということでお聞きしているところでございます。予定としましては、7月から8月、場合によってはそれ以降になる可能性があるということで現在お聞きしておりますけれども、オセアニアの国、地域のほうから、福岡県としては全体で40名を今のところ希望、計画をしてあるところでございます。1カ月ほど県内に滞在ということで、前半の2週間程度につきましては、県のほうでアクション福岡等を拠点にしながら、いろんなそういった地域交流、それから、種目による県内のコーチ陣によるコーチング等を計画されております。あとの2週間につきましては、具体的に今度はみやま市、柳川市で受けるような形で計画をしていただいておりますけれども、今回、柳川、みやまのほうには半分の20名程度を事前キャンプということで考えております。今のところ、ユース世代ということで、来年度、ユースオリンピックが開催されます。ユース世代の選手が来るということと、この選手たちが将来、オリンピック選手になるということで、いろんな、また地元のコーチ陣等による指導、それから、学校や市民との交流、それから、同じ水泳をしてあるような体育協会等の選手の皆さんと、そういった交流を今のところ計画をし、効果的な事前キャンプになるということで考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（牛嶋利三君）

10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

大体大まかなことはわかったんですけどね。この選手団40名ですね、この方たちはこちら滞在になるとですかね、みやま市とか、こっちは泊まる場所なかけんですね、柳川とか大牟田になるとやろうかと思えますけど。

残念ながら、先ほど言いましたように、みやま市は宿泊施設がなか。全然、何か利益がなかかなという感じもします。あとは利益といえ、子供たちがオリンピック選手団とかをじかに見られるというようなことだろうと思うんですが、ほかにみやま市がどういうことをしていくかと。この選手団に対してどのような対応をしていくかというような、少し小さなところがわかればお願いしたいんですけどね。例えば、車を出すとか、どこどこまで送るとか、どういうものを調達するとか、そういうようなことがある程度わかっている分で構いませんので、ちょっと教えていただければと思いますが。

○議長（牛嶋利三君）

野田教育部長。

○教育部長（野田圭一郎君）

事前キャンプ団の滞在ということでございますけれども、滞在については現在のところホテル等を考えているところでございます。ただ、話によりますと、例えば、ホームステイとか、地域の公民館等でも構わないよという話もあったということで県のほうから聞いておりますので、できるだけそういった経済的、それから効果的、地域の方との交流ということを考えれば、そういったホームステイなりという形のほうがいいかなというふうに考えているところでございます。

あと、福岡県までの交通費等については相手側が負担する形になりますけれども、県内の移動等については県なり、また、受け入れの市町村で負担するというような形になるかと思えます。各宿泊施設から、例えば、県営プールまでの移動であったり、いろんな交流会への移動等についての移動費等については、全て地域の、地元の負担になるということで聞いております。

ただ、これについては国、県等の助成制度、補助金等も活用できるものがないかというこ

とで、今、県のほうと協議をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（牛嶋利三君）

10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

わかりました。どうぞうちのみやま市も何らかの利益がありますように、いろんな子供たちに対する、金銭的な面ばかり言いよるとやなかですよ。いろんな方面から利益がありますように、ひとつ努力していただければと思っております。

3点目よございますか。

○議長（牛嶋利三君）

はい、どうぞ。10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

先ほど来、総合市民センターの件でありよりますが、17ページですね。この件については、いろいろ金銭的なものを私のほうからはお聞きするつもりはございませんが、図書館の改造といたしますか、あれが計画をされておりますね。以前も総務常任委員会の中で申し上げたと思うんですが、改造をして、今度の総合市民センターの建設もあるという中で、委員会と何やったのですかね、有識者から成る委員会の設置をするというようなことで大学のほうから4名、それから、職員を1名ないし2名というようなお答えをいただいているところでございますが、今申しましたように図書館の改築があり、この総合市民センターの計画、基本設計等もある中で、重複をせんような施設をつくれというのはもちろんでございますので、非常にどちらも、これが今後建設という形になれば、総合市民センターも建設ということになれば、どうせならば両方とも市民から慕われるようなものをして、使いやすいものをつくっていただきたいというのが私の考えでございまして、その中身は、今言いました有識者から成る委員会の設置4名、職員から一、二名の中に、ぜひ教育委員会のほうから1名入れてもらって、そこら辺の総合市民センターの計画と図書館との整合性、調整をうまく図っていったほうが、先ほど来、何人かの議員さんからも非常に心配された御質問があっております。そういうのもある程度解消されるんじゃないかなというふうに思っておりますが、どうでございましょうか。

○議長（牛嶋利三君）

坂田企画財政課長。

○企画財政課長（坂田良二君）

有識者から成ります選定委員会を設けまして、プロポーザルの内容を協議して、設計委託業者を決定する予定にいたしております。御指摘のとおり、図書館と重複しないような施設、それから、文化・芸術活動の視点も選定に当たっては大変貴重なことだと思いますので、大学の先生4名と、一、二名としております職員の1名は教育委員会のほうから選定させていただけたらと思います。そういった方向で検討させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

10番瀬口健君。

○10番（瀬口 健君）

それば早う言うのとよくあったっですたいね。そん前は副市長が出て、あと1人がどなたかわかりませんというような回答を受けとったもんじゃけんが、ぜひ教育部署からですね。そしたら、そういうことで副市長、それはよございますかね、ぜひともよろしくをお願いします。

以上でございます。

○議長（牛嶋利三君）

ほかにありませんか。13番中尾眞智子君。

○13番（中尾眞智子君）

29ページの地域コーディネーター報償費3,000千円が上がっております。ここの資料の説明のところに「学校と地域が効果的な連携を行い、地域人材の生きがいづくりや地域活性化を図るため、地域コーディネーターを1名追加する。」とございますが、この「学校と地域が効果的な連携を行い」という部分についてですけれども、今、学校は本当に忙しくて、よく生きている実際の子供と向き合う時間よりも、パソコンの中のデータの子供と向き合う時間が多いとかいう話も聞くこともございます。今回また学校にどういう、学校がかかわる部分について具体的にはどういうことがかかわられることになるのか、先生方の時間をまた束縛するのではないかというような懸念を持っておりますので、そのところを少しお聞かせいただければと思います。

○議長（牛嶋利三君）

長岡教育長。

○教育長（長岡廣通君）

御指摘ありがとうございます。今、ゲストティーチャーという言葉が議員さんもお聞きになるかというふうに思います。みやま市の小・中学校は、山門・三池郡のころから、地域のいろんなわざを持ってある方を授業の手助けにお呼びして支援をしていただくというふうなことがもう20年前後つながってきているわけですが、これはどういうことかといいますと、今までどういうふうにしていたかという、各学校がそれぞれでお願いをして、高校を中心に、ああ、こういう方がおられるということを発掘しながら、それでやりとりをしてというふうなことです。これを一言で言いますと、この支援本部は市全体をシステムにすると。だから、行く行くは、最初はいろいろなシステムづくり、計画づくりの段階ですから、学校に情報を求めたり、資料提供を求めたり、ちょっと今、教頭先生あたりが忙しいですが、システムになると、これが自動といいますか、コーディネーターが全体を動かしていきますので、そこら辺は一つは学校の軽減になっていくというふうになります。もう一つは、実はこれは社会教育のほうで動かしております、その意味は何かというと、そういうふうにゲストティーチャーで支援をしていただく方が生きがいを感じていただくと。だから、社会生涯学習になっているということなんですね。だから、今までもそういうふうに、アンビシャスもございましたし、地域それぞれに、校区それぞれにやっていただいた分を全部一つのみやま市としてのシステムとして全体を動かして、学校もそのシステムにアクセスすることによって活用ができるようにしようというふうな仕組みを今整えているところでございますので。

なお、つけ加えておきますと、新聞にも載りましたが、コミュニティースクールという制度を少しずつ、今、試行研究の実践校が3校ですけれども、そういう成果や課題を整理しながら、こことリンクをしていくと。そうすると、このみやま市ならではのコミュニティースクールが行く行く数年後にはできてくるんじゃないかという期待を持っているところで、御心配になられるようなところはぜひ、むしろ軽減していくということで進めたいというふうに思っておりますので、御理解をお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

よろしいですか。13番中尾眞智子君。

○13番（中尾眞智子君）



はい。

○議長（牛嶋利三君）

ほかにないですか。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

17ページ、総合市民センター、もうこれは私、検討委員におりましたから、中身的なことじゃなくて、ただ、回答が保留になっておった気がするので、図書館の改築の中で、喫茶コーナーか販売機を置くコーナーか、そこら辺はこの総合市民センターとの兼ね合いの中で検討していこうというようなことになっておるかと思います。私は基本的に総合市民センター、体育館機能も持った施設ということで、今、御提案あっているんですけど、大きな文化の祭典、あるいは運動とかあった場合は、食堂とは言わんでも、その取り次ぎでするような人を配置して、結構いろいろ人は多いと思うんですよ。そういう兼ね合いを考えると、図書館に喫茶ルームを置きたいという趣旨もわからんではないけどですね、十分な話し合いを出した結果が、図書館に人を委託で入れるということで、私はちょっと疑問を感じるんですけど、そこら辺、企画財政課長、いろいろ検討するということだったので、よろしくお願いします。（「今んとは予算と関係なかつちやなかですか」と呼ぶ者あり）

○議長（牛嶋利三君）

答弁が要りますか。4番末吉達二郎君。

○4番（末吉達二郎君）

当たっていないって言われるならばってん、瀬口議員と同じような趣旨で私は。

○議長（牛嶋利三君）

坂田企画財政課長、ちょっと説明ばしてあげてください。

○企画財政課長（坂田良二君）

まず、図書館の計画の件でございますけれども、今の常設展示室を企画展示室と喫茶室、カフェのようなものでいこうということで当初予算を計上して、今現在作業中でございます。

それから、御指摘の総合市民センターの売店の件でございますけれども、基本計画の中では、利用者の利便性を考慮いたしまして、イートインスペースができるような規模で売店を設けるということにいたしております。喫茶室とは重複しないような形で総合市民センターを計画いたしまして、相互利用をできたらいいなと思いますけど、区別しながら、重複しないようにしていきたいと思いますが、利用者の利便性が一番でございますから、そういった

方向で今後検討していきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（牛嶋利三君）

よろしいですか。

質疑は続けますけれども、壇議員のほうからも指摘があつておりますが、補正予算に係る部分での質問の展開をお願いしたいと思います。

質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

質疑ありませんか。そしたら、議案第30号に対する質疑を皆さんからいただいたところでございますが、質疑も大方出そろったかなというふうに思います。

皆さんにお諮りをいたしますね。最終的表決というようなことで採決をとらせていただきますが、冒頭、議案第30号の審議をいただく中で、6番前原議員、それから、13番中尾議員のほうからも市長不在というようなことでの欠席ということで、質問の関係あたりの御意見が出ました。休憩を挟んで、特に御協議を議運のほうでいただいたわけでございますが、何分、議長の職として、この表決の部分は議長整理権に基づいた判断をさせていただくというようなことが通常でございますけれども、何分、今申しましたとおり、6番前原議員、13番中尾議員からの御意見、そしてまた、経緯といたしましては、皆さん方に随分、以前迷惑、御心配かけた経緯がありますが、前議員さんからの議長としての職権乱用罪というようなことで刑事告発、あるいは民事訴訟等を起こされまして、現在、係争中でもございます。したがって、ここで皆さん方の判断をです、私じゃなくして。お諮りをしながら表決とらせていただきたい、このように思っております。

ここで議案第30号に対する表決を、賛否を問います。いいですか、私がここで議長整理権として表決していいんですが、皆さん方の考え方を示していただいて表決をとります。

ここで賛否のですね、賛成をとります。——はい、どうぞ。12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

休憩以前に、ちょっと休憩に入ってからかな、質問がありましたけど、仮に市長がいっちゃった場合、質問は今まで皆さん全部終わりましたよね、指定回数は。追加ではできないというのを議長おっしゃったと思うんですけど、粛々とそれで進めるのであれば、今さら市長が来られても何も変わらないということですよ。

○議長（牛嶋利三君）

そうですね。12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

その前提で挙手を求められているということでいいわけですか。

○議長（牛嶋利三君）

はい。そしたら、もうここで討論とかに入りますのでですね。12番壇康夫君。

○12番（壇 康夫君）

ですよ。はい、わかりました。

○議長（牛嶋利三君）

よろしいですか。はい、どうぞ。

○15番（坂口孝文君）

今、議長、ちょっと会話の中でおっしゃいましたが、基本的には議長整理権ですよ。

○議長（牛嶋利三君）

いや、だからお諮りしよるわけです。

○15番（坂口孝文君）

ですね。議長がもう、私はここはもう今言ったごつ、今、壇議員さんがいいことをおっしゃったと私は思うんですが、もう仮におっても、もう質問は終わっておるわけですから、あとは採決というのが自然の流れですから、採決はもう議長判断でも私は構わんですけど、議長が賛否を問うとおっしゃるならそれでも構わんですけど、私は議長判断でいいと思いますよ。

○議長（牛嶋利三君）

ありがとうございます。ここで、もちろん討論をさせていただきますので。

議案第30号についての討論は、ただいまのところ通告はあっておりませんが、討論がある方はどうぞお願いしたいと思います。討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

それでは、これより議案第30号を採決させていただきます。

この採決は起立によって行いたいと思います。

議案第30号は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（牛嶋利三君）

起立多数であります。よって、議案第30号 平成29年度みやま市一般会計補正予算（第2号）は原案のとおり可決をされました。

#### 日程第9 閉会中の継続調査の申出について

○議長（牛嶋利三君）

日程第9. 閉会中の継続調査の申出についてを議題といたします。

各委員長から目下、委員会において調査中の事件について、会議規則第111条の規定によりまして、お手元にお配りしました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りをいたします。各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることと決定をいたしました。

議会報編集特別委員会につきましては、調査が終了するまで閉会中の継続調査となっておりますが、調査事項は別紙のとおりでございますので、御承知おきをお願いしておきたいと思います。

ここでお諮りをいたします。本会議中、誤読などによる条項、字句、数字等の整理、訂正につきましては、会議規則第43条により議長に委任いただきたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牛嶋利三君）

御異議なしと認めます。よって、条項、字句、数字等の整理、訂正は議長に委任することと決定をいたしました。

本当に皆さん方には私からも重ね重ねおわびを申し上げますとともに、市長不在という本当に末日の開会ですね、皆さん方の本当に多岐にわたる質問等々ですね、納得のいかない部分等、多々あったかと思います。執行部にかわりまして、あるいは市長にかわりまして、私

からも本当に心からおわびを申し上げますとともに、感謝を申し上げたいと思います。

これで本日の日程は全部終了いたしました。

会議を閉じます。

平成29年第2回みやま市議会定例会を閉会いたします。

午後2時08分 閉会

上記会議の次第は、本荘安政の記載したものであるが、その内容の正確であることを証するためここに署名する。

みやま市議会議長 牛 嶋 利 三

みやま市議会議員 吉 原 政 宏

みやま市議会議員 徳 永 重 遠